

令和6年度

文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

北海道標茶町

自治体名：北海道標茶町

担当課名：教育委員会社会教育課

電話番号：015-485-2040

1.自治体の基本情報



基本情報

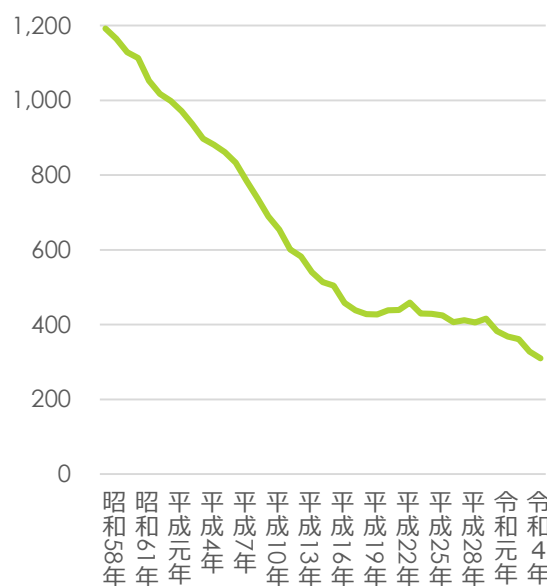
面積	1099.37 km ²
人口	6,881人
公立中学校数	3校
公立中学校生徒数	188人
部活動数	1部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

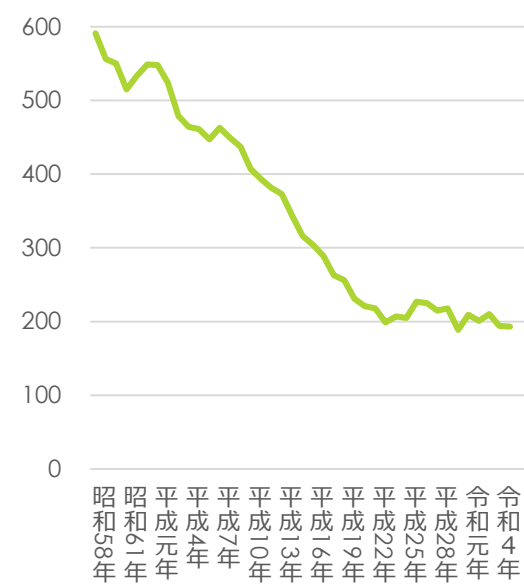
標茶町における文化系部活動については、中学校1校で1部活動が活動している。令和6年度の活動内容としては、標茶中学校の吹奏楽部が、平日は学校部活動として活動し、休日の活動については地域クラブ活動に移行した。地域で指導可能な人材がいたとはいえ、円滑な移行のため、当面は学校部活動顧問の教員も地

域指導者として活動に加わっている。他の町内中学校2校では文化系の部活動がない状況だが、今後希望する生徒が出てきた場合、移動手段や活動場所等の問題がでてくると思われる。

標茶町小学校児童数



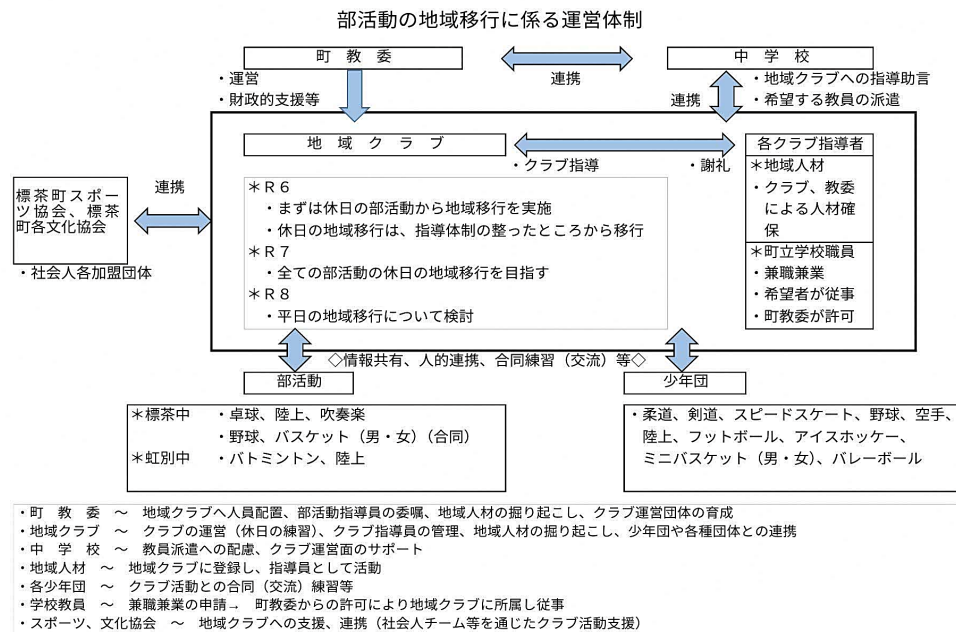
標茶町中学校生徒数



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・地域クラブ設置に係る規則等整備
- ・先行して取り組む部活動による施行実践
- ・謝礼支払や連絡調整等の事務全般

◎町長部局

- ・予算措置

年間の事業スケジュール

月	日	内容
4	1	外部指導者登録開始
4	30	標茶中学校卓球部保護者説明会
5		標茶町地域クラブ指導者バンク募集開始
5	1	第1回標茶町部活動地域移行検討委員会
5		陸上部活動開始
5	11	卓球部活動開始
8	1	部活動在籍生徒向けアンケート調査実施
8	28	第2回標茶町部活動地域移行検討委員会
12	10	第3回標茶町部活動地域移行検討委員会
12	13	中学校部活動に関するアンケート調査実施 （小学4～6年・中学1、2年、その保護者）
令和7年	1	23 第2回部活動・地域クラブ活動関係者会議事例発表

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（1）		標茶中学校吹奏楽部
全体の指導者数	3人	全体の運営スタッフ数	2人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
標茶中学校吹奏楽部	標茶町地域クラブ	吹奏楽	月4回	9時～12時	中1 8名 中2 10名 中3 8名	4月～3月	標茶中学校音楽室ほか	3人 (内 外部指導者1人)	2人	無	部活動として

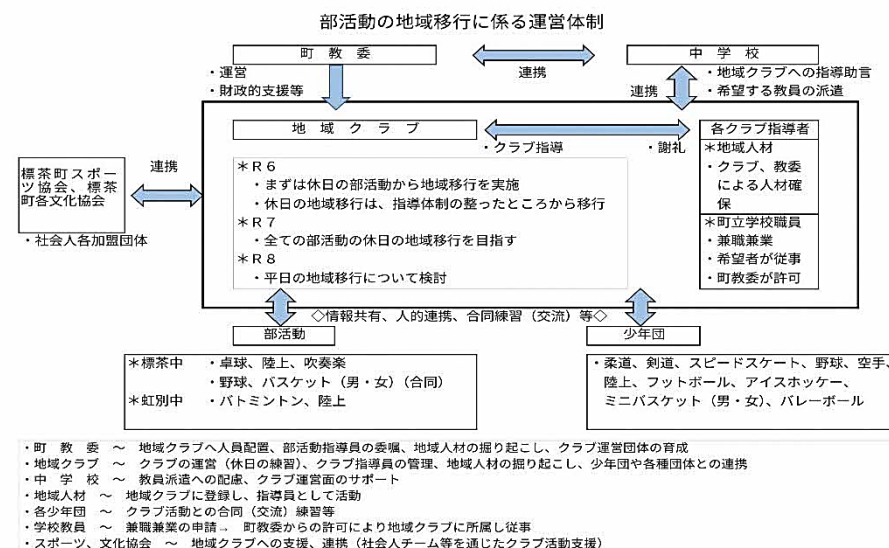
2.実証内容と成果

標茶中学校吹奏楽部の主な取組

●標茶中学校吹奏楽部 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	吹奏楽
運営団体名	標茶町地域クラブ
期間と日数	陸上：5月1日～3月31日 月4回程度
指導者の主な属性	標茶中学校
活動場所	標茶中学校音楽室 ほか
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	中学生年会費 24,000円 （部費として）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●運営スタッフ

役割：教育委員会が担い、謝金事務や連絡調整を行う

●指導者 中学校教員 2名 外部指導者 1名

役割：地域指導者・学校指導者とともに生徒の指導を行う

：学校指導者・地域移行を進めるため、地域指導者の補助として生徒の指導にあたる

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

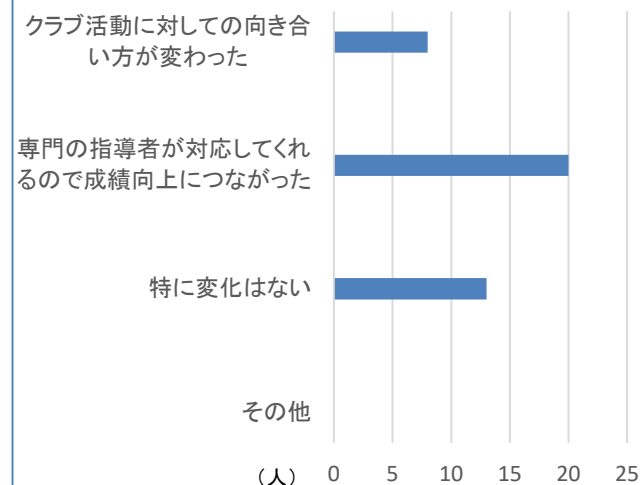
取組事項

- 「標茶町地域クラブ」として標茶中学校の吹奏楽部の休日における活動を地域クラブ活動した。
- 当面教育委員会社会教育課が事務局を担い、クラブが円滑に活動ができるようクラブの管理や指導助言を行った。

取組の成果

- 地域指導者と学校部活動指導者が綿密に情報を共有することで、休日の活動がスムーズに行われていた。
- 部活動に在籍している生徒を対象としたアンケート（スポーツ・文化同時調査）を実施し、41名から回答をいただき、31名から土日の活動が「前より良くなった」との意見をいただき、充実した活動が行われていることが確認できた。他の10名は「前と変わらない」という回答で「前よりやりづらくなった」という意見は0名であった。

地域移行して変化はありましたか？



(令和7年1月実施 生徒アンケートより)

今後の課題と対応方針

- 運営クラブである標茶町地域クラブの財源確保、指導者確保、移送手段の確保が最大の課題⇒R7においても引き続き検討。
- 先行して移行したクラブの成果と課題を生かして、R7年度はさらに中学校運動部活残り5団体の休日における地域移行を進める。
- 休日の地域移行から平日をも含めた完全移行を検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

○令和6年5月に標茶町地域クラブ指導者バンクを立ち上げ、指導者の確保に努めた。

○町の広報誌にチラシ折り込みを行い広く人材を募った。

人材バンクの人数

○1名

バンク応募者の年齢構成

60代 1名

種目

○読み聞かせ

資格有無

○無

指導者バンクについて

クラブ指導者

○標茶町地域クラブの活動の指導を行っていただくため、現在ある活動にとらわれず、幅広く募集した。

○指導日、報酬の額等は、標茶町地域クラブ規定に基づく。

取組の成果

○地域クラブ在籍生徒アンケートから「専門のコーチがきてくれたから専門的なことを学べるようになった」とか「一人ひとりに細かく丁寧に教えてくれる」などきめの細かい指導をしていただいていると感じ取れます

○一方で、応募者が1名にとどまっているため、さらなる周知の必要性がある。

○今後も、応募を継続し指導者の確保に努めたい。

○外部指導者への指導・研修については実施することができず、外部講師やアドバイザー派遣制度等を利用し実施させたい。

部活動の地域移行が始まります

標茶町地域クラブ 指導者バンク登録者募集！

中学校部活動の地域移行に伴い、標茶町では、現在中学校で行われている部活動を、段階的に「地域クラブ」に移行していきます。
そのために必要な指導者の確保が、大きな課題となっています。
そこで、令和7年度から「地域クラブ活動」の指導者として協力していただける方を募集いたします。
子どもたちと共に、スポーツや文化・芸術活動に励んでくださる力をお待ちしています。

募集条件等

- 募集内容 外部指導者（地域クラブ活動における専門的指導）
- 募集資格 青少年の健全育成に十分理解を有する20歳以上の者
- 業務内容 地域クラブ活動における練習及び練習試合等の指導等（内容は部活動により異なります）
- 指導日及び時間 土日のうち1日、3時間以内
- 活動場所 町内の学校及び公共施設

指導者バンク登録までの流れ

- （学校教員の場合は学校を通して申請していただきます）
- 募集の案内 QRコードから申し込みいただけます。
 - 教育委員会から連絡を差し上げます。
 - 連絡先（標茶町教育委員会 社会教育課 0154852040 担当：伊藤）
 - 申し込みいただいた方には、別途申請書に必要事項を記入していただきます。
 - 該をしようとして、指導者バンク登録の可否を決定させていただきます。
 - ※登録された方は、令和7年度からの活動にあたり当該部活動の担当者と相談（説明）をさせていただきます。

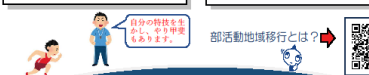
現在実施しているスポーツ、文化活動

- 現在の部活動
 - 【標茶中学校】
 - 〈単独〉吹奏楽、卓球、陸上、男子バスケット
 - 〈合同〉野球、女子バスケット
 - 【虹冠中学校】
 - バドミントン、陸上
- 少年団等の活動
 - ・柔道
 - ・剣道
 - ・空手
 - ・陸上
 - ・フットボールクラブ
 - ・ミニバスケット
 - ・スピードスケート
 - ・アイスホッケー

※生徒が将来的に持続可能な場合、新たなクラブ（写真クラブ、絵画クラブ等）も含め受け付けます。
地域の活性化のため、まずは指導者バンクへ登録をお願いします。
※将来的には「平日」の指導も含めていますが、まずは、土日の部活動から進めていきます。

学校の部活動と地域クラブ活動の違い

- | これまでの学校の部活動 | これから移行するクラブ活動 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> □学校の管理下で行われる活動 □教員の顧問が配置され、学校の教育活動の中で活動が行われる □学校の部活動に加入 □怪我、事故の際の保険は災害共済給付制度にて対応 | <ul style="list-style-type: none"> □学校の管理外で行われる活動 □運営の主体は教育委員会、地域クラブ運営事業者 □地域クラブ活動に加入 □保険は民間の保険にて対応 □指導費が支給されます |



あなたも、指導者として、共に子どもたちや地域の未来を支えていただけませんか？
まずは指導者バンクへ登録を！

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 部活動地域移行検討委員会に委員として各学校長にも参加していただき、クラブ活動の情報を共有した。
- 児童・生徒・保護者を対象としたアンケート調査を実施し、ニーズをとらえた。
- 中学校のPTA総会へ出向き、事務局から地域移行の取組を説明した。

取組の成果

- 校長会議などで、地域移行の状況について情報提供を行い、学校の理解を得ながら移行を進めることができた。
- 町議会では、6月定例会において本町における部活動の地域移行の進捗状況について取り上げられ、「2つの部活動において試行実践を開始」したことについて説明した。
- 部活動地域移行検討委員会（令和6年12月10日開催）にて、部活動の在り方支援検討アドバイザーの熊上氏をお招きし新たな地域クラブ活動について、運営母体の法人化についてなどの話を聞くことができた。

今後の課題と対応方針

- 教育関係者や検討委員には、標茶町地域クラブの取組状況は周知されているが、町民に対しての説明が不足しているとの指摘を受け、今後、町民や保護者に向けた情報発信の機会が必要と感じている。
- これまでの部活動のスクールバス活用から、地域クラブ活動でのバス等の活用について、関係各所との協議を進めていくことが重要。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- 現在、標茶中学校の1つの部活動を先行して実施しているが他の中学校においても移行を進めるべく準備を進める。
- 該当となる学校の学校長から状況の聞き取りを実施。
- アンケートの実施

取組の成果

- 他の部活動の活動状況、所属人数等の状況聞き取りを実施。
- アンケートにより、まだ移行が進められていない虹別中学校及び中茶安別中学校の生徒が活動してみたいと思っている活動についてニーズの把握を行うことができた。
- 町内に3校ある中学校において、拠点となる学校の検討を進めることができた。

今後の課題と対応方針

- 移動手段の確保や各々の場所で活動するか活動場所を集約させるかの検討が必要。
- 今後、ますます生徒数が減っていく状況において実施する活動の種目の検討も必要。
- 指導者の確保が難しい地区もあり、指導者の確保も課題となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

- 標茶町地域クラブは、幼児から大人まで持続可能な生涯学習・生涯スポーツの環境整備を目的に、令和6年4月に設立。事務局は、当面教育委員会社会教育課が担うこととし、令和8年度までに平日を含めた移行について検討を進め、令和9年度以降、完全移行（休日、平日ともに地域クラブ活動）を目指していく。
- 令和5年6月及び令和6年12月に部活動の地域移行に係るアンケート調査を実施し、児童・生徒・保護者・教職員のニーズの把握に努めた。
- 令和6年8月に先行実施の生徒を対象にアンケート調査を実施した。

取組の成果

- 標茶町中学校吹奏楽部では1年間の活動を通して、多くの成果と課題を検証することができた。
- 吹奏楽部では現行の部活動に外部指導者が入り込み指導するというスタイルを確立させ学校指導者とともに質の高い指導を進めることができ、生徒へのアンケートにおいても概ね良好な意見をいただいている。
- 部活動地域移行の実証事業の大きな成果の1つは、学校指導者と地域指導者の綿密な連携を前提とした生徒への指導である。平日の部活動の指導と、休日の地域クラブの指導の方向性を同じにすることで、生徒は混乱なく活動することができた。

今後の課題と対応方針

- 現在、文化系の部活動が標茶中学校吹奏楽部のみとなっており、他の2校の中学校で活動希望者が現れた場合の対応が必要となってくる。
- 学校指導者から地域指導者へのスムーズな移行、さらには平日の移行を視野に入ると、指導者間の連携がより必要となる。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- 標茶中学校吹奏楽部は、学校音楽室で活動している。
- セキュリティ問題の解決をはかる。

取組の成果

- 従来の部活動のまま学校施設において活動することができた。
- セキュリティ問題については活動場所が学校の3階ということもあり、新たな扉設置等では解決が難しく取組を進めることができなかった。

今後の課題と対応方針

- 今後、活動場所の問題等、活動環境の検討が必要。
- 学校施設や備品（楽器等）を使用させていただいている状況であり、必要機材の補充や破損時等の対応についてルール策定を急ぐ必要がある。
- 開錠、施錠については学校顧問が依然として行っている現状があるため、今後、鍵の管理やスマートキーの導入等の検討が必要。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組 平日の移行

取組事項

○土日の部活動移行を先行し進めているため平日の移行についての検証を行う。

取組の成果

○まずは土日の移行を進めている段階であり、平日の移行については、令和8年度に一部中学校における地域移行を目指し、令和9年度以降に全学校全部活動の移行を目指すこととしたい。

今後の課題と対応方針

- 活動場所の問題、活動時間の問題等課題が多く残っている。
- 土日の移行においても指導者の確保が問題となっている状況の中、平日もとなるとさらに確保が難しくなることは明白。
- さらには、平日も活動したとなると謝金も増加するため、財源確保も課題となる。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

標茶町では、先行して1つの部活動について、実証事業を活用することにより円滑に運営を進めることができるよう取組を行ってきた。標茶町地域クラブとしては、幼児・小学生・中学生・高校生・大人すべてを対象とし、持続可能な生涯学習・生涯スポーツの活動環境を整えることを目的に、令和6年4月に設置された。実施主体としては当面、教育委員会社会教育課が事務局として担うこととし、標茶中学校吹奏楽部で試行実践をスタートさせた。

標茶町地域クラブの運営母体である運営委員会は、地域移行検討委員会メンバーが担うこととし、単に中学校部活動を地域に移行するのではなく、持続可能な活動環境を整えていくことを確認した。現在のところ新しい文化系の部活動が増えるという計画はないが、これまでの検証の成果を生かし、地域移行、地域展開を進めていく。

●成果の評価

標茶町地域クラブを立ち上げて1年が経過しようとしている。成果というよりも、地域移行検討委員会で協議を重ねるたびに新たな課題が見つかることを繰り返してきております。検討委員会発足当初から、すべて環境を整えてから新クラブを立ち上げるのではなく、歩きながら課題を見つけ、モデルクラブの成果と課題を明らかにして検証を進めていくということが常々話がでていた。したがって、まだ成果を評価する状況にはないことから、引き続き課題を拾いながら、標茶スタイルの地域移行、地域展開を進めていきたいと考えております。

●今後に向けて

各部活動との協議を進める中で、種目により課題が違ってくるのが浮き彫りとなった。指導者資格や審判資格が必要なクラブ、統一したユニフォームが必須のクラブ、単独ではチームが組めず他町村との合同チームを余儀なくされるクラブなど、課題は多様であり、部活動の地域移行が進まない要因と考えております。

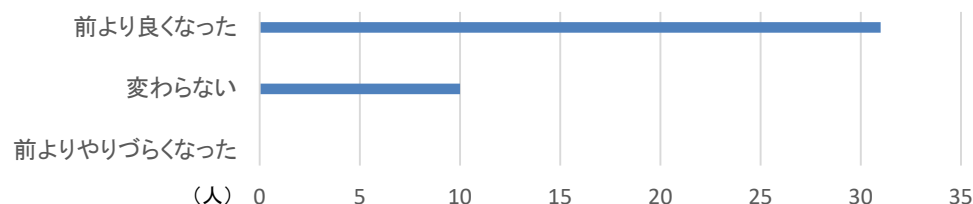
全国的な共通課題として、指導者の確保、財源の確保、生徒の送迎手段の確保などがあげられているが、種目ごとの課題や本町のような小規模自治体の課題などともたらえたうえで、R7年度は休日における全部活動の地域移行、標茶町地域クラブの地域展開を積極的に進めていく。

2.実証内容と成果②

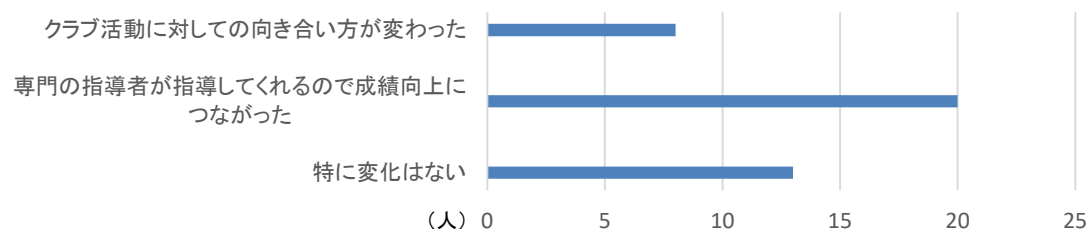
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果 (令和6年8月実施生徒アンケートより) 回答数 吹奏楽部 16名 (卓球 15名 陸上 10名)

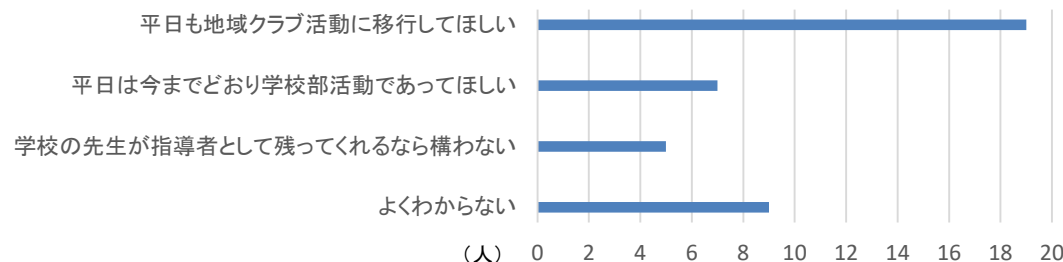
Q.土日の活動が地域クラブ活動となりましたがどう感じていますか。



Q.地域移行した土日のクラブ活動によって何か変化はありましたか。



Q.今後平日の活動も地域クラブ活動に移行する予定ですがどう思いますか。



●アンケートや聞き取りから

中学1年生の声 (吹奏楽部)

去年まではいなかったけど、平日と比べると練習しやすいし、質問もしやすい。

中学2年生の声 (吹奏楽部)

たくさんアドバイスとかをもらうことができるからよい。

中学3年生の声 (吹奏楽部)

顧問の先生とは違う指導方法を観点により、自分のできないところやできるところが見つけられるようになった。

指導者 (検討委員会での報告から)

吹奏楽の場合、指導者2名体制だと足りないと感じることがある。パートごとの練習とかもあるし、楽器運び等人数が必要なものもある。

2.実証内容と成果③

広報資料

○部活動の地域移行を進めるにあたり、児童、生徒、学校教職員、地域指導者、保護者等、様々な関係機関・関係団体に説明するための資料が必要となったことから、教育委員会が作成した。

【地域移行説明のチラシ（表）】

「部活動の地域移行」が始まります



背景

- 少子化、学校の小規模化が進み、生徒・指導者ともに確保できず廃部となるケースが増え、もはや学校単独で部活動を維持することが困難になっています。
- 一方で小学校や地域では、すでに少年団やクラブ活動等、スポーツや文化芸術活動を支える組織があり、専門的・継続的な指導によって成果をあげています。
- 国や道は、中学校の部活動を学校から切り離すこととし、まずは土日の部活動を地域に移行することとしました。令和5～7年度を「改革推進期間」としています。
- 生徒が将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するためには、持続可能で一貫した指導体制を地域で確立することが求められています。

学校だけで子どもたちのスポーツ・文化芸術活動を継続的に支えていくことは困難になります

めざすもの

子どもたちが将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、地域の持続可能な生涯学習・生涯スポーツの環境を整えます

【令和6年度 部活動の地域移行の進め方】

まずは**標茶中学校**単独で活動している **卓球、陸上、吹奏楽**の3つの部活動について、**土日の活動を段階的に地域に移行**します

卓球部：青藤正行（役場職員）※以前も外部指導者として協力を頂いています。

陸上部：矢島恵介（役場職員）※陸上少年団を受け皿とした活動を行います。

吹奏楽部：山林幹雄（自営業、民生委員）※川上ソフィア・アインツァの協力で活動を支援します。

○基本的には土日のどちらか一日の活動を対象とします。部活動ごとに対応を検討します

○学校の顧問と外部指導者が共同で指導していただきます

「ご協力ありがとうございます」

〈令和6年度に検証する内容〉

- (1) 練習内容や練習時間、大会への参加、中学校顧問と外部指導者との連携など、移行に係る指導体制について検証します。
- (2) 費用面・練習場所・施設管理や運用など管理面について検証します。
- (3) 指導者の確保、参加体制など指導者の体制整備について検証します。

【地域移行スケジュールのチラシ（表）】

部活動の地域移行のスケジュール

令和5年度の取組 つくる

- 1 部活動の地域移行検討委員会を設置（令和4年12月準備委員会を設置）
 - ・PTA、社会教育、スポーツ・文化芸術団体、少年団関係者などの代表で構成
- 2 アンケートの実施
 - ・ニーズの分析、目指す方向性の明確化
- 3 先進地の視察・講師を招いた研修会の開催など情報収集を行い標茶町における地域移行のイメージを明確にしていきました
 - ・伊達市教育委員会、登別市教育委員会の視察
 - ・幕別町小田氏による講演会の開催 ・各種研修会等への参加
- 4 標茶町地域クラブ（仮称）の制度設計
- 5 標茶中学校の部活動について、土日の地域移行に向けた準備
 - ・指導者への依頼と説明 ・学校との打ち合わせ ・保護者への説明



部活動
地域移行



令和6年度の取組 つなげる

- 1 標茶中学校におけるモデル（3団体）による試行実践
 - (1) まずは単独で活動している卓球・陸上・吹奏楽で実施し、実証事業を開始
 - (2) 体制の整備・指導者の確保、関係団体との連携、活動内容の検討、参加費の負担と支援施設活用方法 実施している状況を分析と課題を把握し一つ一つ解決していきます
- 2 地域クラブ（仮称）設置に伴う運営方針・規則等の整備
- 3 指導者発掘の取組～地域クラブ指導者バンクの設置
- 4 地域クラブ（仮称）の準備組織の立ち上げ
 - ・実施形態の検討 ・情報収集
- 5 地域移行を広げるための検討
 - (1) 他の部活や他の団体（少年団含む）へ広げるための条件整備
 - (2) 他の中学校へ広げるための準備

〈指導者発掘の取組〉

- ・募集案内→地域クラブ指導者の登録
- ・地域団体の指導者との連携

指導者の確保が何より大切です



令和7年度の取組 ひろげる

- 1 全部活動の土日の地域移行を進める
 - 実証事業の継続・他の市町村との連携・協働
- 2 地域クラブの運営形態の確立
- 3 実証事業終了に伴う次年度移行の見直し
 - 実証事業の検証（アンケート調査等）
- 4 平日における部活動の地域移行の検討

〈地域移行を進める際のポイント〉

- (1) 通・町が定める部活動方針を遵守し、過度な練習にならないよう努める
- (2) 指導者は希望する教員も求める
- (3) 地域の指導者が確保できない場合は持続可能な体制を維持できないものと判断し廃止を検討する
- (4) 必要性が認められ、指導者・希望者が今後継続的に見込めると判断される場合は新たなクラブ活動として設置を検討する

参考資料（活動写真）



【吹奏楽部の活動の様子】

2.実証内容と成果⑦

参考資料（活動写真）



【先進地視察の様子】



【先進地視察の様子】



【部活動の在り方検討支援アドバイザーを招いての研修会】

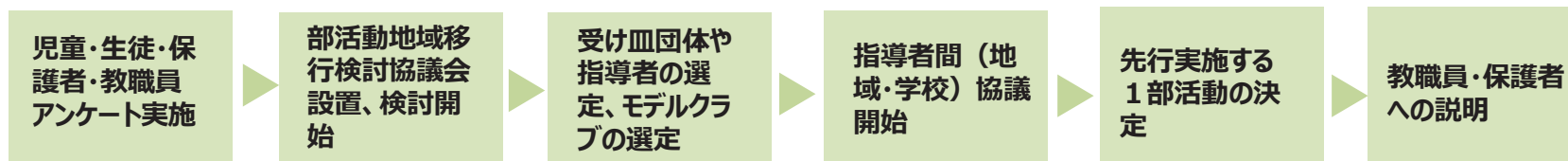


【部活動地域移行住民説明会の様子】

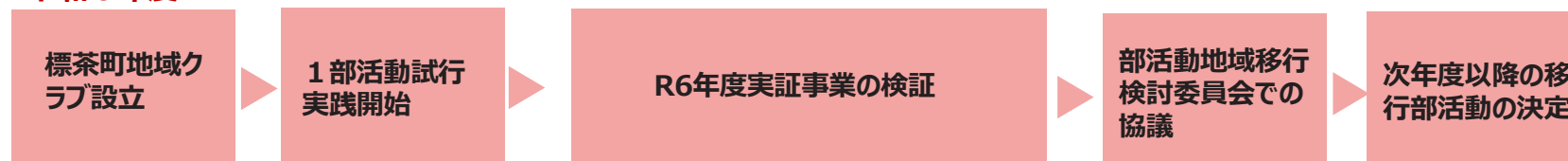
2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年度



令和6年度



令和7年度

中学校全部活動の休日における地域移行

令和8年度

一部中学校の平日における地域移行
(一部部活動の完全移行)

令和9年度以降

全部活動の完全移行

ステークホルダー

○学校、校長会、教頭会、町長部局、町教委、文化協会、スポーツ協会、各スポーツ団体、各文化団体

経 過

○令和5年度より標茶町部活動地域移行検討委員会を設置し、推進計画を策定した。委員会では、地域移行に関する学習と先行実施部活動を決定し令和6年度から実証事業の検証を行った。

実施内容

○標茶町地域クラブを立ち上げ、1部活動（標茶中学校吹奏楽部）が活動を開始した。検討委員会では、R7年度の移行部活動の検討を始めた。

課題と今後の展開

○財源の確保、指導者の確保、生徒の移送手段の確保が大きな課題となる。

3.今後の方向性①

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

標茶町における部活の 地域移行スケジュール

R4

R4.12月 第1部活動の地域移行に係る検討準備会議
R5.2月 第2回部活動の地域移行に係る検討準備会議
委員対象の研修会（幕別札内スポーツクラブ小田新紀氏）
R5.3月 内部検討・道教委との連携～令和5年度の構想

R5

R5.5月 第1回標茶町部活動地域移行検討委員会
6月 アンケートの実施（保護者・生徒・教員）
7月 第2回標茶町部活動地域移行検討委員会
住民説明会（幕別町・小田氏を再び招き実施）
10月 先進地視察（登別市・伊達市）を実施
視察者による検討会
次年度試行実践の素案作成
12月 第3回標茶町部活動地域移行検討委員会
次年度以降の構想の審議

R6

R6.4月 標茶町地域クラブ設立
5月 第1回標茶町部活動地域移行検討委員会
8月 生徒向けアンケートの実施
8月 第2回標茶町部活動地域移行検討委員会
外部指導員からの状況報告
12月 第3回標茶町部活動地域移行検討委員会
部活動の在り方支援検討アドバイザー 熊耳雅美氏による説明会
R7.3月 第4回標茶町部活動地域移行検討委員会

R7

1 全部活動の土日の活動の地域移行を進める

（地域移行を進める際の原則）

- （1）道・町が定める部活動方針を遵守すること
- （2）希望しない教員には指導を強制しないこと
- （3）指導者、希望者が今後継続的に見込める場合は、既存のクラブにとらわれない新たなクラブ活動を検討すること
- （4）地域の指導者がどうしても確保できない場合は持続可能な体制を維持できないものと判断し廃止を検討する

2 可能な種目から平日の地域移行を始める

3 地域クラブの運営形態を確立させる

- ・組織の法人化の検討

R8

1 一部中学校部活動の平日における地域移行

2 R9年度以降の全部活動完全移行に向けた準備

R9
以降

1 全部活動の完全移行